

幼児教育コース だより

2018年 2月
No. 7

高知大学教育学部
幼児教育コース 発行

たくさんの学びがあった幼稚園教育実習！

幼児教育コース3年生は、2017年9月に4週間にわたる幼稚園教育実習を教育学部附属幼稚園において行いました。年少児、年中児、年長児それぞれの学年を担当した学生の感想をご紹介します。

◆年少クラス(もも組)

私たちは、年少のもも組さんに入りました。子ども一人ひとりを理解し、その子に合った関わりをしていく事の大切さを学びました。また、ダンスステージができた事で子どもたちが変わっていたのが印象的で、環境構成が子どもたちに与える影響がすごく大きいことも実感しました。

大変な事はいろいろありましたが、子どもたちが自分たちの計画・準備した遊びで楽しんでくれたり、先生と呼んでくれたり、いろんな話をしてくれるのがとても嬉しかったです。現場に行かないと分からない事を多く学べた実習でした。この実習で得た事をこれからの学習に活かしていきたいです。
(奥宮桃子、野村小夏)



「ここをテーブルでくっ付けたいから、先生、持ってきてね」「わかった」

◆年中クラス(うめ組、うさぎ組)

年中は、うめ組とうさぎ組の2つのクラスがありました。実習生はそれぞれ、遊びを中心とした部分保育と1日クラスの担任をする1日保育があり、うめ組では新聞紙テントを使った遊びやパズル作り、ペットボトルのキャップを使ったプロペラ作りをしました。うさぎ組では、忍者ごっこや紙輪っかぶどう作りをしました。主の先生として動くことは最初は大変でしたが、回数を重ねていくうちに大変さと同時に楽しさややりがいを感じました。また、実習期間中には第三者として保育の観察をしたり、補助教諭として担任のサポートをしたりする機会もあり、様々な視点から保育を考えることができました。

(中島優佳、枝崎日菜乃、桑田美摘)



「お宝ステーションで、今まで使ったことがない材料も、いっぱい見つけたよ」

◆年長クラス(はと組、さくら組)

年長クラスでは、5名の実習生が2クラスに分かれて実習をさせていただきました。はじめは緊張していましたが、朝の挨拶や、普段の遊びをとおして、子ども達からも話しかけてくれるようになっていくことはとてもうれしく感じました。年齢が高いぶん、遊びの範囲も広く、子ども達も活発だったので、いろんな遊びに自分から積極的に入り、子どもと関わっていくことが大切であったと実感しています。私たちがそうした日々を過ごすことで本当に様々な子ども達の姿を見ることができたと思います。また、部分保育・一日保育では、遊びを考えること、環境を工夫すること、また実際に子ども達の前に立って子どもの声を聞くこと、自分が話すことなど難しさを感じた部分はたくさんありますが、そのような体験や、先生方が実際に保育をする姿を見ることで、とても充実した学びの多い1か月になったと思います。

(青木佐樹、鮫島咲子、井戸智友希、今倉俊和、川上綾音)



「先生、ここをピンと引っ張って、指を通すんだよ」「なるほどね～」

8月18日「出張あそぼーや」に行きました

昨年に引き続いて出張『あそぼーや』として、幼児教育コース1年生8名、2年生7名、教員3名の計17名で、「第2回 サマーチャレンジ スクール ☆ 2017」(場所:保健福祉センター香北(高知県香美市))に、本学の芸術文化コース、音楽教育コースの学生とともに参加しました。出張『あそぼーや』は、「幼児教育コースの学生が学外に赴き、地域の小学生との遊びを通して子育て支援を行うこと」、「幼小連携について学ぶ実践の場とすること」を目的として実施しています。今回の幼児教育コースの担当は、小学生を対象とした製作活動とゲーム活動の実施、そしてボディパーカッションや踊りによる「一番星コンサート」への出演でした。

製作活動では、ペットボトルを使ったけん玉、見る場所によって模様や色が変わる万華鏡、ストローを使って遠くまで飛ばせる飛行機、色とりどりのモールを用いた創作活動を行いました。小学生は、各材料が設置してあるコーナーで大学生から説明を受けながら熱心に作成し、その後、自分で作ったもので遊ぶという活動に、とても満足そうでした。

ゲーム活動では、拍手の数だけ集まる「そーれで仲間づくり」、テーマごとに座っている場所を移動する「フルーツバスケット(なんでもバスケット)」、吹奏楽の生演奏に合わせて動くという贅沢な「椅子取りゲーム」を行いました。学生は、子どもたちへルールの説明をしたり、ゲームの進行をしたり、ゲームに参加したりして子どもたちの遊びをサポートしました。

夕方からの「一番星コンサート」では、入り口にモールで作った星や花やハートを流れ星に見立てて飾り付け、夏らしく浴衣に着替えてお客様をお迎えしました。コンサート中は、小学生と協同でボディパーカッションを演じたり、近隣の中学、高校の吹奏楽部の演奏に合わせた「恋ダンス」を披露したりし、詰めかけた200名ほどのお客様から、たくさんの拍手をいただきました。



10月20日「あそぼーや『スタンプで遊ぼう』」を PICK UP !

2学期第1回目の「あそぼーや」のテーマは「野菜でペタペタ、ハンコでペタペタ、どんな素敵な模様ができるでしょうか?」。手遊びと絵本の読み聞かせを楽しんだ子どもたちは、巨大な白い画用紙が目の前に置かれてびっくり。そこには樹の幹だけが描かれていました。次に登場したのは、レンコン、オクラ、さつまいも、ピーマンといった見慣れた野菜。子どもたちがカットされた野菜の断面に好きな色の絵の具を付けて思い思いにスタンプしていくと・・・樹の幹に次々と面白い形の葉っぱや花がくっついて・・・大きな画用紙は子どもたちが野菜でスタンプした葉っぱや枝で埋め尽くされました。野菜スタンプを楽しんだ子どもたちは、手形を押ししたり、足あとをつけて遊んだり、全身で絵具遊びを楽しみました。

保護者の方からは「こんな大きな紙にスタンプするのは、家ではできない経験です」という感想をいただきました。



「見て見て、私の手型もお花みたい!」



「オクラって、ハンコにしたら星の形に見えるよ」

11月29日「あそぼーや2」を PICK UP !



「黄色い島から赤い島へ、ジャンプ〜！」



「♪幸せなら態度でしめそうよ、ほらみんなで手をたたこう」

「冬を感じよう！」というテーマで2学期最後の「あそぼーや2」が実施されました。親子11組が集まり、子どもの数は20名。あふれんばかりの賑わいがみられました。

室内では、郵便ポストや大きな窓がついている段ボールハウスが大人気でした。その中に置かれた暖炉やテーブルに囲まれて子どもたちはお料理作り。モノづくりが好きな子どもたちは、太陽に向けてと色とりどりの光が差し込むサンキャッチャー作り。子どもたちは雪の結晶の形をした台紙に思い思いの色紙を貼りつけていました。レゴで遊ぶ子どもやお絵描きを楽しむ子どもたちもいました。

はじめは曇り空だったためか室内で遊ぶ子どもが多かったのですが、開始後20分ほどして太陽が顔を出すと、子どもたちは次々と外へ。「けんけんぱ」「でこぼこ橋わたり」「おもいきりジャンプ!」「はいはいトンネル」のスタンプラリーと、子どもたちは何度も遊びコーナーを回り、手作りカードにスタンプを押してもらっていました。

最後はみんなで手をつなぎ「幸せなら手をたたこう」の手遊びを楽しんで「さようなら」のご挨拶。2年生にとって最後の「あそぼーや2」は子どもたちの笑顔で締めくくられました。

「あそぼーや」アンケートより

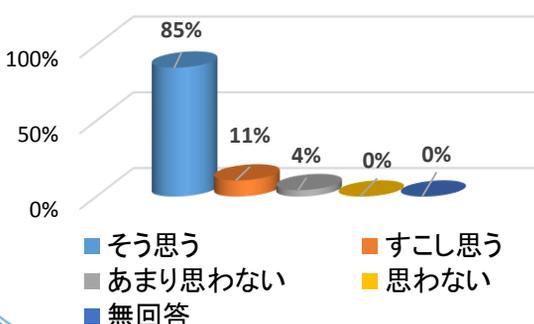
◆地域子育て支援広場「あそぼーや」の1年間(アンケートより)

高知大学教育学部幼児教育コース主催の地域子育て支援広場「あそぼーや」は、教育学部教員の指導のもとで、幼児教育コースの1年生が乳幼児のための遊び活動を計画、準備、実践するものです。今年度も計10回開催し、のべ139組(下表)のお子様と保護者の方にご参加いただきました。

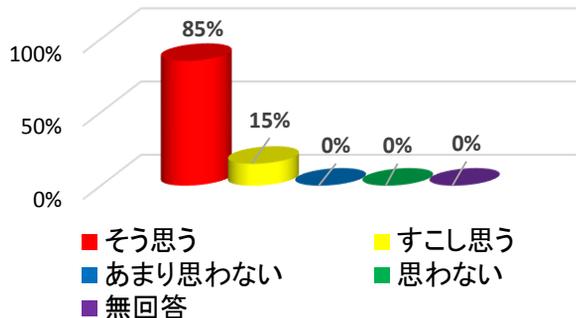
No	活動日	主な活動	参加組数
1	5月26日(金)	はり絵をつくろう! —ちぎったりくっつけたり...どんな形ができるかな?—	8組
2	6月 9日(金)	絵本で遊ぼう! —巨大絵本や紙芝居?どんなお話がはじまるかな?—	10組
3	6月23日(金)	身近な素材で遊ぼう! —お友達、大学生のお姉さん・お兄さんと一緒に遊みましょう。—	16組
4	7月14日(金)	粘土場で遊ぼう! —からだ全体を使って、たつぶりの粘土で遊みましょう。—	17組
5	7月28日(金)	音楽あそびをしよう! —手あそびや体あそび、いろいろな音楽あそびをしてみましょう。—	11組
6	10月20日(金)	スタンプで遊ぼう! —野菜でベタベタ、ハンコでベタベタ、どんな素敵な模様ができるかな?—	15組
7	11月10日(金)	プチ皿をつくって遊ぼう! —陶芸用粘土で作るプチ皿に、あなたは何を入れるかな?—	16組
8	11月24日(金)	体育館で遊ぼう! —広い体育館のいろいろなコーナーでダイナミックな遊びを体験しよう!—	16組
9	12月22日(金)	音楽で遊ぼう! —クリスマスソングを歌って踊ろう!—	16組
10	1月26日(金)	絵本で遊ぼう! —絵本や紙芝居、ペープサート?どんなお話が始まるかな?—	14組

ご参加の保護者の方には、毎回アンケートにご協力いただきました。アンケートの結果、“お子様の様子は楽しそうでしたか?”という質問に、「そう思う」「すこし思う」と答えた方は合わせて約96%、“保護者の方にとって楽しいものでしたか?”という質問には「そう思う」「すこし思う」と答えた方は100%となりました。

Q. お子様は楽しそうでしたか?



Q. 保護者にとって楽しいものでしたか?



「あそぼーや」、「あそぼーや2」、「保育相談」のご案内

高知大学教育学部の地域子育て支援広場「あそぼーや」は、以下の日程で皆さんをお待ちしています。大学生のお姉さん・お兄さんと一緒に、遊びましょう！

No	月日	曜日	主な活動	対象年齢	申込期間
1	5/25	金	いろいろな素材を使って、切ったり貼ったり楽しもう！	3歳以上	5/14-5/21
①	5/30	水	『大学生のお姉さんと遊ぼう！』段ボールハウスでのままごとやおもちゃ作り等、自分の好きな遊びを楽しもう！	未就学児	申込不要
2	6/8	金	たくさんの粘土で遊ぼう！	3歳以上	5/28-6/4
3	6/22	金	広い体育館で思いきり遊ぼう！	未就学児	6/11-6/18
4	7/6	金	七夕のお話を楽しもう！	未就学児	6/25-7/2
②	7/18	水	『大学生のお姉さんと遊ぼう！』段ボールハウスでのままごとやおもちゃ作り等、自分の好きな遊びを楽しもう！	未就学児	申込不要
5	7/27	金	歌とリズムで楽しもう！	未就学児	7/17-7/23

※上記日程表の①②は「あそぼーや2」です。「あそぼーや2」の詳細は下記のとおりです。

【参加方法】準備の都合上、上表の申し込み期間中に以下のメール記入事項(1)～(5)を入力いただき、asoboya@kochi-u.ac.jpまで、お申し込みください。参加希望のメールが届きましたら、こちらから返信をいたします。申し込み最終日翌日が過ぎても返信が届かない場合は、ご面倒ですが下の問い合わせ先へご連絡ください。

【メール記入事項】(1)件名:あそぼーや参加希望(2)参加希望日(3)お子様について:お名前・年齢・性別(4)保護者の方について:お名前・住所・電話番号(5)大学広報使用のための写真掲載の可または不可

【対象】高知市近郊在住の未就学児とその保護者(お子様だけの参加はご遠慮ください)

【時間】15:00～16:00

【集合場所】高知大学教育学部1号館1階幼児教育実習室
(集合後、各活動の教室へ移動する場合があります)

【持ち物】水分補給のための飲み物、お子様の着替え・おむつ等必要なもの

【服装】お子様も保護者の方も、汚れてもよい服装でお越しください。

特にNo1, 2, 3の活動は着替えが必要です。

【参加費】年間保険代等300円(年度初参加時のみ1回徴収)

【定員】20名程(活動場所の広さの都合上、定員を設けております。ご了承ください)

【問い合わせ】「あそぼーや」についてのお問い合わせは、asoboya@kochi-u.ac.jpまで。



❖あそぼーや2(ツー)は、学生が遊びを企画する「あそぼーや」と異なり、お子様が幼児教育実習室にあるおもちゃを使って自由に遊んだり、昨年度「あそぼーや」を担当した大学生と一緒に遊んだりします。「あそぼーや2」に参加される場合、申し込みは必要ありません。

❖ 保育相談について

「あそぼーや」実施日に、幼児教育コース教員が子育ての悩み等についてご相談をお受けする「保育相談」を実施します。お子様は「あそぼーや」の活動に参加し、別室で保護者の方のご相談をお受けすることもできます。相談を希望される方は「あそぼーや」の活動日の7日前までに、(1)件名:保育相談(2)希望する相談日<①第1希望日、②第2希望日>(3)保護者のお名前(4)お子様のお名前、年齢、性別(5)相談の簡単な内容を下記のアドレスへメールでお知らせください。希望者が多い場合には、他の「あそぼーや」の日程を提案させていただきます。なお、「あそぼーや」に来ていただいた際に予約をすることもできます。連絡先(E-Mail): asoboya@kochi-u.ac.jp

幼児教育コースだよりは、高知大学教育学部のホームページ
(<http://www.kochi-u.ac.jp/gakubu/kyoikugaku/>)でもご覧いただけます。

高知大学教育学部 幼児教育コース
〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1 TEL 088-844-8368